令和４年９月吉日

各都道府県教育委員会教育長　殿
各都道府県国語教育研究団体長　殿
各　高　等　学　校　長　殿
各　校　国　語　科　教　諭　殿

全国高等学校国語教育研究連合会（全国連）
会　　長　佐藤　和彦（東京都立松原高等学校長）
全国連第 55 回研究大会岡山大会
実行委員長　内田　博文（岡山県立倉敷青陵高等学校長）

全国高等学校国語教育研究連合会　第 55 回　研究大会　岡山大会

《最終案内》

令和４年度全国高等学校国語教育研究連合会第５５回研究大会岡山大会は、下記要項のとおり、令和４年１１月１７日（木）・１８日（金）に開催いたします。当初ハイブリッド形式での開催を予定していましたが、平成３０年度から計画的に取り組んできた岡山の授業づくりの成果を直接ご覧いただきたいと考え、参集形式での開催とさせていただきました。大会日程の１日目は、倉敷市芸文館にて全体会を行い、その中で、文部科学省初等中等教育局視学官でいらっしゃる大滝一登先生による講話、岡山ゆかりの作家でいらっしゃる重松清先生による記念講演、日頃から各校で精力的な取り組みを展開している岡山県内８名の先生方による研究発表を実施いたします。２日目は、岡山県の歴史や文学に触れていただく文学研修を用意させていただいております。

大会メインテーマ「新学習指導要領を踏まえた岡山の授業づくり」とサブテーマ「主体的・対話的で深い学びの実践を目指して」には、子供たちが未来の創り手となるために必要となる資質・能力を育むため、岡山県の国語科教員一人ひとりの授業改善に向けた熱い思いを盛り込んでおります。

主催者として参加者の皆様への新型コロナウイルスの感染防止に万全を尽くす所存ですので、どうかたくさんの方々にご来県いただき、活発なご議論とご助言を賜りますようお願い申し上げます。

岡山大会開催要項

大会主題　新学習指導要領を踏まえた岡山の授業づくり
～主体的・対話的で深い学びの実践を目指して～

１　**主　催**　全国高等学校国語教育研究連合会　岡山県高等学校教育研究会国語部会
２　**後　援**　文部科学省　岡山県教育委員会　倉敷市教育委員会　岡山県高等学校長協会
　　公益財団法人日本教育公務員弘済会岡山支部
３　**期　日**　令和４年１１月１７日（木）・１８日（金）
４　**日　程**　第１日　全体会（開会行事、文部科学省講話、記念講演、研究発表）
　　第２日　文学研修（３コース）
５　**会　場**　第１日　倉敷市芸文館（倉敷市中央１丁目 18 番１号）
　　第２日　文学研修　（A）岡山コース　（B）足守・吉備津コース　（C）倉敷コース
６　**参加料**　５，０００円
７　**参加申し込み期間**　９月２０日（火）～１０月２０日（木）
８　**参加料・資料代支払い期間**　９月２０日（火）～１０月３１日（月）
９　**参加申込み方法**　「全国高等学校国語教育研究連合会の HP」より、「岡山大会専用 HP」（９月２０日に開設）に入り、「参加申込みのご案内」に従ってお申し込みください。

第1日 令和4年11月17日(木) 全体会・記念講演・分科会

9:30	10:30	11:10	12:00	13:10	13:35	13:50	15:20	15:40	17:00
受付	開会行事	文部科学省講話	休憩	アトラクション(備中神楽)	休憩	記念講演	移動・休憩	研究発表(分科会)	

■開会行事

■文部科学省講話　講師：大滝　一登　氏（文部科学省初等中等教育局視学官）

■アトラクション（備中神楽）岡山県立高梁城南高等学校　郷土芸能同好会

■記念講演　講師：重松　清　氏（作家）

■研究発表（分科会）

分科会①「学問の世界・実社会とつながる」	
テーマ	「正解のない問い」を核とした探究型授業のこころみ～学問とつながれば社会とつながる～
概要	「言語文化」が目標としている「言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度」を育てるために、授業の中で正解のない問いに立ち向かう経験をすることが有効ではないか、という仮説のもとで実施したいくつかの実践を報告する。
発表者	入江　忍（岡山県立岡山東商業高等学校）
テーマ	社会とつながる探究的国語～評論教材を使用した「書くこと」の指導～
概要	「現代の国語」の中で、新学習指導要領が求める「書くこと」に関する指導をどのように充実させていくのか。ここで改めて教科書に掲載されている文章教材を「書くこと」の指導に使用する可能性について探りたい。
発表者	横山　洋平（岡山県立倉敷鷲羽高等学校）

分科会②「情報とつながる」	
テーマ	情報とつながる、あるいは「情報につながる」 ～実用的な文章をどう取り上げるか、ICT機器をどう活用するか～
概要	「現代の国語」において、「実用的な文章」をどのように取り上げていくか、それは例えば「文学的な文章」にどのように繋がっていくのか。実践のもう一方の軸を ICT 機器の活用に置き、試みを共有したい。
発表者	内田　浩文（岡山県立勝山高等学校蒜山校地）
テーマ	情報とつながる～ひとり一台端末の活用から見えてきたもの～
概要	生徒の資質・能力の育成を基盤に据え、ひとり一台端末の効果的な利活用について授業改善してきた。過去6年間の授業から見えてきた成果や課題について、「読むこと」との繋がりを軸として発表したい。
発表者	山田　雅之（岡山県立林野高等学校）

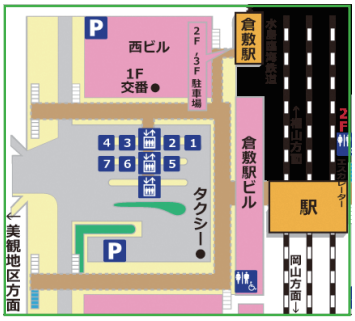
分科会③「作品世界とつながる」（「読む」を中心に）	
テーマ	「語り手」を読み「語り手」となる文学の授業～「言語文化」の継承者を育成する～
概要	「言語文化」では、言葉とは語り継がれてきたものだという認識を持ち、言葉を語り継いでいく主体を育成するという観点からの授業改善が望まれる。この観点に基づき、書き換え学習を軸とした実践について発表する。
発表者	難波　健悟（岡山県立岡山操山高等学校）
テーマ	授業を変えていく～「読むこと」の授業は、読むことで終わってよいのか～
概要	「論理国語」では、文章を読み主張を的確に理解するだけでなく、文章をモデルに、他者や場、目的に応じてどう書くかを理解し実践する力の育成が求められる。それを目指した「読むこと」の授業改善の取組を報告する。
発表者	加戸　小百合（岡山県立津山高等学校）

分科会④「他者とつながる」（「話す／聞く・書くこと」を 中心に）	
テーマ	私たちの話し言葉を見つめ直す～話し言葉を通じて、他者とつながる～
概要	話し言葉を客観視して自己の課題に気づき、教科書教材による一般化と演劇・方言・アサーションによるコミュニケーションの実践の両面から試みた、他者とつながる「話し言葉」の学習指導の実際について発表する。
発表者	矢野　祥子（岡山県立邑久高等学校）
テーマ	他者とつながる力を育てる「書くこと」の学習指導
概要	「書くこと」やコミュニケーションに苦手意識を持っている生徒に、どのような手立てを用いれば良いか。スモールステップでの書く活動と、他者の書いたものを共有することによって変容した生徒の様子について発表する。
発表者	板谷　香奈（倉敷市立真備陵南高等学校）

第１日会場　倉敷市芸文館　岡山県倉敷市中央1丁目18番1号

アクセス
ＪＲ倉敷駅より
◆倉敷駅改札を出て左折、南口から南へ徒歩約20分

◆倉敷駅改札を出て左折、南口のバス乗り場で乗車（約10分）
〇下電バス（塩生線）倉敷駅前5番のりば
中央二丁目（倉敷芸文館）
（天城線）倉敷駅前6番のりば
倉敷芸文館東（船倉町）
〇両備バス（吉岡線）倉敷駅前
3番のりば
中央二丁目（倉敷芸文館）
（倉敷循環線）倉敷駅前
3番のりば
中央二丁目（倉敷芸文館）



第2日 令和4年11月18日(金) 文学研修

◎文学研修のご案内

（希望者のみ　各コース参加費　3,500円）

A	**岡山コース（倉敷駅発　岡山駅着　貸切バス）8:30～13:30**
	～吉備路文学館・夢二郷土美術館・後楽園・岡山城～
	明治以降の吉備路ゆかりの小説家、歌人、詩人、俳人、映画人などの著書や資料を収集・展示している「吉備路文学館」。岡山県出身で大正浪漫を代表する詩人画家、竹久夢二の作品を所蔵する「夢二郷土美術館」。岡山藩２代目藩主池田綱政が築いた日本三名園の一つとされる「後楽園」。宇喜多秀家が築城した三層六階建ての天守閣を持つ「岡山城」。岡山の見どころ満載のコース。

B	**足守・吉備津コース（倉敷駅発　岡山駅着　貸切バス）8:30～12:40**
	～木下利玄生家・近水園・旧足守藩侍屋敷・吉備津神社～
	足守藩最後の藩主を父に持つ白樺派の歌人木下利玄の「生家」。旧足守藩主木下家の庭園で、小堀遠州流と伝えられる池泉回遊式庭園「近水園」。江戸時代中期の家老屋敷のたたずまいを残す「旧足守藩侍屋敷」。全国で唯一の吉備津造りの本殿と拝殿が国宝に指定されている、桃太郎伝説ゆかりの神社「吉備津神社」。明治時代の歌人ゆかりの地と岡山が誇る国宝を訪ねるコース。

C	**倉敷コース（倉敷駅発　美観地区解散　貸切バス）8:30～12:00**
	～薄田泣菫生家・厄神社（都羅の小径）・倉敷美観地区～
	詩人、随筆家の薄田泣菫が幼少期と晩年を過ごし、交友のあった文人たちの書簡が展示されている「薄田泣菫生家」。平安時代中期から続く神社で、境内に泣菫の屏風形御影石の詩碑が建立されている「厄神社」。白壁の蔵屋敷が天領時代の町並みを残す「倉敷美観地区」。倉敷の魅力を満喫できるコース。

※申込は第２希望（あれば）まで記入していただき、希望の中で調整いたしますが、最少催行人数（Ａコース30人・Ｂコース20人・Ｃコース20人）に達しない場合は中止となります。その際、参加費は返金いたします。
※日程や集合場所の詳細は、決定後にお知らせします。

◎新型コロナウイルス感染症対策ご協力のお願い

・会場入り口において検温を実施しています。また入館時には手指消毒の徹底にご協力ください。
・大会参加前後の健康観察の徹底をお願いします。
・参加者はマスクを着用してください。また、こまめな手洗いの徹底をお願いします。
・密集を避けて間隔を十分にお取りください。
・飲食時は黙食の徹底、併せて、飲食の前後に会話をする場合は必ずマスクの着用をお願いします。
・倦怠感や咽頭痛など風邪の諸症状がある場合は、発熱がなくても参加の自粛をお願いします。